

まほろば秦野通信

令和5年11月20日

タイトル	市内本町地区の建造物が 国登録有形文化財（建造物）への登録に答申されました
When (いつ)	【内申日】11月24日(金曜日)* ※登録の決定時期は未定
Who (だれが) What (なにを)	国の文化審議会が新たに290件の建造物を登録有形文化財に登録するよう、文部科学大臣に答申しました。 ＜登録対象物＞ (1) 旧澤良商店店舗兼主屋 <small>きゅうさわらやうしょうてんぼけんおもや</small> ほか土蔵1棟 (2) 立花屋茶舗店舗兼主屋 <small>たちばなやちやほてんぼけんおもや</small> ほか蔵2棟 (3) 保全堂薬局店舗兼主屋 <small>ほぜんどうやっきよくてんぼけんおもや</small> 計6件 (各建物の詳細は別紙のとおり)
Why (なぜ)	建造物の登録には、「国土の歴史的景観に寄与しているもの」、「造形の規範となっているもの」、「再現することが容易でないもの」という3要件がありますが、今回の登録物件は全て、「国土の歴史的景観に寄与しているもの」に該当します。 ◆文化財登録制度について 時代の特色をよく表したものや再び造ることができない建造物など、これらの貴重な文化財建造物を守り、地域の資産として生かすため、平成8年に創設されました。 ◆登録有形文化財(建造物)について 50年を経過した歴史的建造物のうち、一定の評価を得たものを文化財として登録し、届出制という緩やかな規制を通じて保存が図られ、活用を促すものです。
過去の実績	・現在、市内の登録有形文化財（建造物）は14件*です。 ・今回の答申により登録が決定すると、登録有形文化財（建造物）は全国で14,035件、神奈川県内で329件、市内では20件となります。 ※「猿渡堰堤」「山ノ神堰堤」「戸川堰堤」（いずれも神奈川県が管理）、「宇山商事店舗兼主屋」「五十嵐商店店舗兼主屋」ほか4棟、「蓑毛大日堂」ほか3棟、「旧芦川家住宅主屋（緑水庵）」
問い合わせ	生涯学習課 文化財・市史担当：小林 電話：0463(87)9581

まほろば秦野通信

<登録対象物1>

- ・名称等 きゅうさわりようしょうてんぼけんおもや
旧澤良商店店舗兼主屋
きゅうさわりようしょうてんどぞう
旧澤良商店土蔵
- ・所在 秦野市本町三丁目2838
- ・築年代 店舗兼主屋：大正15年（1926）年
土蔵：明治前期／明治中期移築、大正後期改修
- ・所有者 個人
- ・特徴等

龍門寺参道入口に建つ元乾物青果商の店舗兼主屋。通りに西面する木造二階建切妻造平入銅板葺の店舗で、背面に平屋建寄棟造鉄板葺の主屋を接続しています。店舗一階は全体が土間床となっており、北西には事務所であった部屋が附属しています。この部屋はかつて神奈川中央交通株式会社の乗合自動車待合所としても使用されていました。

土蔵は店舗兼主屋の北に建ち、旧商品蔵兼家財蔵として使用されました。土蔵造二階建切妻造平入きりまつくりひらりの置屋根で鉄板葺とし、片町通から妻を見ることができます。内部は一、二階とも一室で、二階東妻に窓が配置されています。

店舗兼主屋は関東大震災後、震災復興により前面の道路が拡幅された大正15年に建築され、現在でも袖蔵をもつ商家としての店構えの骨格を残しており、復興当時の歴史的景観を担う貴重な遺構です。

<旧澤良商店店舗兼主屋及び土蔵の写真>



旧澤良商店店舗兼主屋



旧澤良商店土蔵

まほろば秦野通信

<登録対象物2>

- ・名称等 たちばなやちゃほてんぼけんおもや
立花屋茶舗店舗兼主屋
たちばなやちゃほひだり くら
立花屋茶舗左の蔵
たちばなやちゃほみぎ くら
立花屋茶舗右の蔵
- ・所在 秦野市本町三丁目2839
- ・築年代 店舗兼主屋：慶応元年頃／明治後期改修、昭和2年移築、
同10年・45年頃増築
左の蔵：江戸末期
右の蔵：明治41年／大正後期改修
- ・所有者 個人
- ・特徴等

旧澤良商店に並び台町交差点北に位置する茶商の店舗兼主屋。つし二階建切妻造平入鉄板葺の店舗北に寄棟造二階建の主屋を接続しています。主屋二階には東久邇宮ご宿泊のために昭和10年に増設された座敷が配されています。

左の蔵は店舗の東背後に建ち、商品蔵兼家財蔵として使用されています。土蔵造二階建の東西棟で、切妻造の置屋根を鉄板葺とし、西妻下屋に戸口を設け、両開の掛子塗戸を吊るしています。外壁は白漆喰塗で腰は下見板張、二階床には格子付の荷上口を備えています。

右の蔵は店舗兼主屋の背後、左の蔵の南に位置しています。土蔵造二階建切妻造妻入の置屋根鉄板葺であり、左の蔵と一連で下屋を付しています。外壁はモルタル塗で腰は洗出仕上となっています。

通りに面した軒の低い町屋、「立花屋半兵衛・茶舗」の大看板及び2棟の茶蔵をもつ屋敷構えが江戸末期から明治初期の和風店舗・茶舗の姿を今に伝える貴重な遺構です。

<立花屋茶舗店舗兼主屋及び蔵の写真>



立花屋茶舗店舗兼主屋



立花屋茶舗左の蔵



立花屋茶舗右の蔵

まほろば秦野通信

<登録対象物3>

- ・名称等 ほぜんどうやつきよくてんぼけんおもや 保全堂薬局店舗兼主屋
- ・所在 秦野市本町一丁目2626-1他
- ・築年代 昭和3年/昭和40年代改修
- ・所有者 個人
- ・特徴等

本町四ツ角交差点の南に位置する薬局の店舗兼主屋。正面中央を薄く張り出し、三連の上下窓を開けた二階建洋風店舗の西に、二階建和風主屋を接続しています。出隅の柱頭飾の幾何学模様のレリーフや正面頂部のメダイオンなどの意匠にセセッションの影響がみられます。関東大震災の火災により大きな被害を受けた本町四ツ角周辺は、その後耐火への意識から意匠を凝らしたモルタル塗りの洋風店舗が軒を連ねるようになり、震災復興の象徴的な存在となりました。保全堂薬局店舗兼主屋はその歴史的景観を伝える貴重な遺構です。

<保全堂薬局店舗兼主屋の写真>



<位置図>

